



古志原小学校だより

令和6年度No.1

えがおいっぱい

4月15日

(文責 校長 小林 敏朗)

先週から、新年度、令和6年度の1年間がスタートしました。今年度も子どもたち一人一人と向き合い、しっかりと成長を促していく学校でありたいと思っています。今年度も変わりませず、本校の教育活動にご理解・ご協力・ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

始業式から・・・

4月8日(月)から1学期が始まりました。始業式では、子どもたちに次のようなお話をしました。

今日から、古志原小学校の新しい1年がスタートします。明日の入学式で97名の新1年生が加わり、全校642名のスタートになります。

6年生は3月の卒業式の時に準備から片付けまでしっかりと取り組みました。ありがとうございました。6年生は古志原小学校の空気を創る学年です。そして古志原小学校の顔です。登校班をはじめ、そうじやふれあい班など、いろいろなところでリーダーです。リーダーとしての活躍を期待しています。

2年生から5年生までのみんなも進級して新しい学年になりました。進級おめでとう。新しい学年で新たに「がんばろう」と思っていることが、皆さんの姿から伝わってきます。

これから、「進んで」という言葉をキーワードに、こういう古志原っ子になってほしいというお話を三つします。

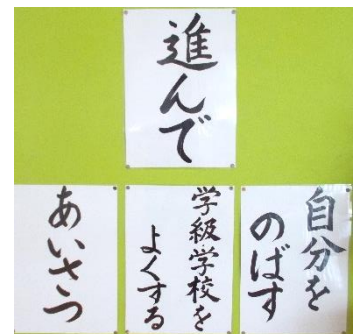
一つ目。「進んで自分を伸ばす」ことです。一人一人の得意なことを自信をもって発揮してほしいです。算数が得意な子は算数の時間にみんなに教えてほしいし、運動が得意な子は体育や運動会で活躍してほしいし、みんなの考えをまとめることが得意な子は話し合いで活躍してほしいし、きれい好きな子は掃除の時間に掃除の仕方を教えてほしいと思っています。どんどん自分を伸ばしてほしいです。

二つ目。「進んで自分の学級や学校をよくする」ことです。みんな一人一人「こういう学級だといいな」「こういう学校だとうれしいな」と思っていると思います。その思いを実現するのは、他の誰でもありません。先生や友達に任せておけば…なんて考えるのもよくありません。自分たちで話し合っ、どんどん自分たちの学級や学校をよくしていこうとする姿を期待しています。

三つ目。「進んであいさつをする」ことです。人は一人では生きていけません。おうちの人や地域の人、友達、先生など多くの人とかがかわる中で生活しやすくなるし、勉強や運動もできます。周りの人とかがかわる初めの一歩が「あいさつ」です。できれば笑顔を加えて、笑顔であいさつをして、古志原小学校をあいさついっぱいの学校にしましょう。

以上の3つです。皆さんが進んで取り組む姿を先生たちは応援します。失敗なんかおそれることはありません。進んで取り組んで、それでもうまくいかなかったら、先生たちは応援したり助けたりしますので安心して下さいね。令和6年度の1年間もがんばりましょう。

「進んで」という言葉をキーワードに「自分を伸ばす」「学級や学校をよくする」「あいさつをする」というお話をしました。「自分を伸ばす」についてはこの1年間、子どもたち一人一人が持っている自分の得意なことをどんどん伸ばしてほしいという思いから話しました。「学級や学校をよくする」については、昨年度の学級会の取り組みを継続して、自分たちで考えて実行し、自分たちにとって居心地のよい学級や学校を創ってほしいという思いから話しました。「あいさつ」については、学校でも家庭でも地域でももっともっとあいさつの輪が広がっていくといいなという思いから話しました。後日お



知らせますが、今年度の学校経営の大きな柱に「自己肯定感を育む・高める」ことを挙げています。この3つの話は、すべて自己肯定感につながることを考えています。これら3つのことが学校でしっかりできるよう子どもたちには指導・支援していこうと思っています。

入学式から・・・

4月9日(火)に今年度の入学式を行いました。当日、外は残念ながら雨天となりましたが、古志原小学校の校舎や体育館は新1年生を心から祝福するあたたかい空気に包まれていました。そして、入学式も心あたたまる式になりました。



新1年生は97名です。

入学式で私からは「やるき」「ほんき」「げんき」という「三本の木」を心の中で育ててほしいということ、そして育てていくためのコツは「あいさつ」と「お話をよく聞くこと」というお話をしました。新1年生の子どもたちはとても静かにお話を聞いていました。また入学式の最中、お話に対して「はい」と返事をしたり、「ありがとう」に対して「どういたしまして」と応えたりする姿に感心しました。

97名の新1年生が入学し、全校児童642名での令和6年度古志原小学校がスタートしました。この1年間、子どもたちの学び、そして成長をしっかりと支えていきます。

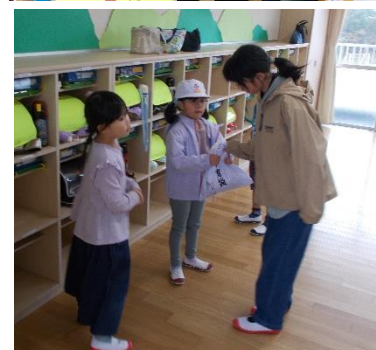


新1年生の呼名の様子

そして、入学式の次の日から・・・

入学式の次の日から、6年生の子どもたちが登校した1年生のお世話をしています。ランドセルから筆箱や連絡帳などを出したり、ロッカーに荷物を置いたり、意欲的に取り組んでいます。「さすが6年生！」です。ありがたいことです。本当に頼りになる6年生です。

始業式でも話しましたが、6年生が学校の空気を創ること、6年生が学校の顔であると常々思っています。当然のことながら、今年の6年生にも期待大です。6年生が学校中に素敵な空気、あたたかい空気を創ってくれることを期待しています。



今年度も継続して、学校だより「えがおいっぱい」を発行します。学校の様子をご家庭や地域の皆様にお伝えしようと考えています。ご一読いただければ幸いです。この学校だよりも1年間よろしく願いいたします。

なお、本校のホームページにも同様の学校だよりを掲載します。右のQRコードを活用して、ご覧ください。

